



知的生産の技術研究会・岡山

15周年記念誌

<http://www.tikenoka.com/>

知研・岡山とは	幹事等の紹介	1
2013年事業概要	会長(4代)伊藤 松郎 (15周年)	3
2008年事業概要	会長 定金 章 (10周年)	4
2007年事業概要	会長(3代)定金 章	5
2005年事業概要	会長(2代)万代 勉	6
2003年事業概要	会長 久保田 貢 (5周年)	7
知研活動3カ年を振り返って	万代 勉	8
2001年事業概要	会長(初代)久保田 貢	9
サラリーマンの勉強会NPOに衣替え		10
リットカフェと東京直結 テレビ会議セミナー 岡山		11
1998年5月～知研・岡山 平成12年 以前の活動～		12

平成25年6月15日(土)

知研・岡山 広報担当

トップページ

知研・岡山とは

活動報告

セミナー情報

みんなの広場

会員募集

リンク

「知研・岡山」について

本会は、「知的生産の技術研究会(本部)」の活動方針に賛同し、「知研・岡山」として地域に根ざした個性豊かな活動をしていきます。

また、会員自身の専門性を生かし幅広い知識や情報を交換し、積極的に研修の場を求めて相互啓発に努めることを目的とします、主たる活動は下記のものがあります。

1. 講演会、セミナー、勉強会の企画・実施
2. 異業種交流による人的ネットワークの構築
3. 会員の有する専門知識や技術等の普及
4. その他、目的達成に必要な事業

本研究会も、岡山で旗揚げしてから15年を迎えました。その間、自己啓発や相互啓発により、講演会をはじめ会の各種活動を通して知的生産活動の向上が図れたものと確信しています。

今年度は、会則や組織の整備もすすみ、会員も50名に近づき、ますます多彩な活動ができる状況になりつつあります。

今後とも、会員の連帯感をより強化し、活動内容の充実も図りながら「知研・岡山」にふさわしい活動をしていきたいと思っています。

幹事等のご紹介

知研・岡山幹事等紹介(平成25年1月現在)

※敬称略

役職	氏名	主な担当業務
会長	伊藤 松郎	○会務の執行 ○本会の総括代表 ○総会・幹事会の招集 ○知研本部との調整
副会長	三宅 佳樹	○会務の執行 ○会長の補佐 (必要により会長任務の代行) [会員担当] ○会員状況の把握
事務局長	辻川 登貴子	○会務の執行 ○事務の統括 [会計担当] ○経理・会計事務
幹事長	金関 正人	○会務の執行 ○幹事会の運営統括
幹事	雨坪 壽則	○会務の執行 ○広報活動 [広報担当]
幹事	高丸 芳典	○会務の執行 [事務局担当]事務局長補佐
幹事	加上 義博	○会務の執行
幹事	相澤 泰憲	○会務の執行
幹事	寺見 敬三	○会務の執行
幹事	上田 進	○会務の執行

幹事	久保 よしの	○会務の執行	
幹事	伊賀 功悦	○会務の執行	
幹事	金関 高司	○会務の執行	
幹事	黒川 康則	○会務の執行	
幹事	林 良伸	○会務の執行 ○会計の監査	[監査]
幹事	田中 孝恵	○会務の執行 ○会計の監査	[監査]
相談役	岡本 憲彦		
顧問	久保田 貢		
顧問	定金 章		

Copyright(C)2000-2013 知的生産の技術研究会 岡山支部 広報 All Rights Reserved.

知的生産の技術研究会
知研・岡山 平成25年 事業概要

トップページ

知研・岡山とは

活動報告

セミナー情報

みんなの広場

会員募集

リンク

2013年事業概要

知研・岡山 会長 伊藤 松郎



「知研・岡山」は今年15周年(本部43周年)を迎えます。発足以来、岡山に軸足をおきながら着実な活動を続け想像以上に素晴らしい財産が蓄積されています。あらゆるジャンルの方々との出会いを通しての人的なつながりが今日の当会を形成していると思います。歴代の会長が築いてきたこの財産を礎に4代目の会長として、インプットも大事にしながらアウトプットにも力を注ぎたいと考えております。そしてそのことがより貢献性のある交流会へ成長するのではないかと存じます。会員の皆様との情報共有、意見交換、問題提起等の交流を促進し、また一般の方も参加しやすいより開かれた環境となるよう取り組んで参ります。

国際化の中で今、我が国ははたいへん多難な状況にあります。日本人らしさを取り戻し世界をリードする国になって欲しいものです。毎月の例会を通して一緒に学びながら我々も自信を取り戻し元氣な交流を図りましょう。

知的生産に定年はありません。老若男女の会員の方々とともにいろいろな分野の知的生産に挑戦し、知的で健康な人生をご一緒に過ごしたいと念じております。



平成25年1月の講演会・総会の会場

知的生産の技術研究会 知研・岡山

平成25年度 総会を開催しました。

日時: 2013年1月21日

場所: 岡山国際交流センター



知的生産の技術研究会
知研・岡山 平成20年 事業概要

トップページ

知研・岡山とは

活動報告

セミナー情報

みんなの広場

会員募集

リンク

2008年事業概要

知研・岡山 会長 定金 章

平成20年1月の総会にて、2年目の会長として承認をいただき、2008年の活動について10周年記念行事を含めて、皆様と一緒に様々な企画により、活発な活動を展開していきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。



知研・岡山も発足して節目となります10年目を迎えましたが、本年度における事業計画につきましても、従来の基本方針である「岡山に軸足を置いた」知的生産活動を踏襲し、積極的に展開していきたいと考えております。幹事も改選した新体制の中で、皆様のご協力を頂きながら「明るく」「楽しく」「元気よく」をモットーとして、やっていきたいと思っております。

活動計画は別紙の通りですが、今年度は幹事一同が張り切ったためメニューが多く、結局、休会月が8月しかなくなり従来通りとなりました。まだ計画はありませんが、特別ゲストが飛び入りといったサプライズもあるかもしれません。どうか、大いに楽しみにしてください。

また、皆様の中で“我こそは”とエントリーのご希望があれば、役員会にて検討させて頂きたいと考えています。どうか遠慮なく申し出下さい。自由闊達でワイワイとにぎやかに、心からお互いに楽しみながら知的生産の技術を習得していきましょう。そして、例会後のワイワイミーティングで、講師を含めた心の交流も深めていきませんか。大いに知的好奇心を満足できる充実した1年にしていきましょう。



平成20年1月の講演会・総会の会場

知的生産の技術研究会 知研・岡山
平成20年度 総会を開催しました。

日時：2008年1月25日

場所：岡山国際交流センター

知的生産の技術研究会
知研・岡山 平成19年 事業概要

トップページ

知研・岡山とは

活動報告

セミナー情報

みんなの広場

会員募集

リンク

2007年事業概要

知研・岡山 会長 定金 章

平成19年1月の総会にて、万代会長の後任として第3代目の会長に就任させていただきました、定金です。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

さて、知研・岡山も発足して9年目を迎えましたが、本年度における事業計画につきましても、従来の基本方針である「岡山に軸足を置いた」知的生産活動を、積極的に展開していきたいと考えております。役員も改選し新体制のなかで、皆様のご協力を頂きながら「元気で」「楽しく」「明るく」やっていきたいと思っております。

活動計画は下記の通りですが、今年度の特徴として「休会月」を設定したことです。これは、講演会の準備の徹底や、内容の充実を図るためのもので、フリーとしています。しかし、原則は毎月開催としておりますので、特別なゲストが飛び入りといったサプライズもあるかもしれません。どうか、楽しみにしててください。

また、皆様の中で“我こそは”とエントリーのご希望があれば、役員会にて検討もさせて頂きたいと考えています。どうか遠慮なく申し出下さい。自由闊達でワイワイとにぎやかに、楽しみながら知的生産の技術を深めていきましょう。そして、講演会後のワイワイミーティングで、心の交流も深めていきませんか！



平成19年1月の講演会・総会の会場

知的生産の技術研究会 知研・岡山

平成19年度 総会を開催しました。

日時：2007年1月31日

場所：岡山国際交流センター

- ・平成18年度事業報告と会計報告、監査報告
- ・平成19年度事業計画と予算案、役員改選などを審議・決定しました。

平成19年度 事業計画

元気で、楽しく、明るく・・・

知的生産の技術研究会
知研・岡山 平成17年 事業概要

トップページ

知研・岡山とは

活動報告

セミナー情報

みんなの広場

会員募集

リンク

2005年事業概要

知研・岡山 新会長 万代 勉

発足以来、久保田会長を中心にして、教育県岡山にふさわしい知的レベルの高い会員の集まりとして、地味ではあるが堅実な活動を続けてきたと思います。



こうした活動を支え広げてきたのは、業種・経験などを超えたあたたかい人間的つながりと、新しいものを求めてやまない探究心、異なるものや考え方への寛容さだったと思います。

拡大しつつある知研・岡山をさらに発展させるためには、会員の皆さんの豊富な体験に基づく示唆に富んだご提案、積極的なご協力、会員だけに固定しない開かれた視野が必要だと思います。

実業に経験のない者ですが、皆様のご協力で会長としての責めをふさぎたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

本年度も知研岡山の幹事はもとよりご参加の皆さんと共に手作りの例会を企画・実行していきたいと思っています。

平成17年事業計画をご参考にしてください。

また、例会後に、自由参加の形で「ワイワイミーティング」(はっきり言えば飲み会)で交流を深めています。中には例会に参加できなくてもこの飲み会だけに参加される方もいます。



平成17年度 事業計画

今年こそ、自己改革が・・・

知的生産の技術研究会
知研・岡山 平成15年 事業概要

トップページ

知研・岡山とは

活動報告

セミナー情報

みんなの広場

会員募集

リンク

2003年事業概要

知研・岡山 会長 久保田 貢

この活動も本年は5周年を迎えます。毎月の例会開催は大変なことですが「知研岡山らしい」事業内容にして、ご参加頂いた方々に喜んで頂くことを励みとして取り組んで参ります。今年も皆さんのご参加をお待ちしております。



1. 地域在住で見事な実績を残し、経験豊富な方のお話をお聞きする。
→「講演会」
これまでも多くの方々のご講演や実演を交えたお話をお聞きしました。まだまだ岡山には沢山の素晴らしい方が居られます。今年も引き続きご登場頂きます。
2. 地域に出かけて歴史や文化財に直接ふれる。→「おでかけ隊」
こちらから出かけて、現地で直接見たり触れたり、またお話をお伺いすると臨場感があります。皆さんと一緒に訪問し新しい発見と体験をしましょう。
3. 本を選び参加者が予め精読し、その本から何を得たか、感じたかを話しあう。→「読書研修」
もの凄い量の本の中から1冊を選び、事前に何度も何度も精読し、なにかを掴んで集まり相互に感想や意見交換をします。昨年は「プロジェクトX リーダーたちの言葉」を取り上げ、あらためて先人の努力に敬服し、言葉の重さを実感しました。
4. 参加者が順番で、職業、人生、ライフワークなどで身につけ、経験した内容を紹介する。→「私の話、なんでもあり」
誰しもが生きて、生活して、仕事をして、家族を持って・・・等々の中で多くのことに出会い、知恵を出し、また学んで切り抜け今日があります。知研岡山の例会参加者がその体験から得られたものを分かち合います。
5. 発足記念行事は、3月30日に5周年記念として開催する。
同時通訳の草分けである「村松増美」さんに「英語とユーモアが世界を救う」の講演会を行います。近著に『ミスター同時通訳「私も英語が話せなかった」講談社+α文庫』があります。

このような行事を計画しています。すでに年度の計画が決まっていますので、平成15年事業計画をご参考にしてください。また、例会後に、自由参加の形で「ワイワイミーティング」(はっきり言えば飲み会)で交流を深めています。中には例会に参加できなくてもこの飲み会だけに参加される方もいます。

平成15年度 事業計画

今年も、きっと何か良いことが・・・

トップページ

知研・岡山とは

活動報告

セミナー情報

みんなの広場

会員募集

リンク

知研活動3か年を振り返って

NPO 知研・岡山の3年間の歩み

知研・岡山事務局 万代 勉

平成12年以前の活動状況

平成13年1月例会から前回までの活動状況

平成13年の活動計画

岡山支部の発足

「知的生産の技術研究会」が岡山に支部を立ち上げ、その記念講演会を開いたのは、98年5月であった。それから、今年5月で丸3年、その間に主催した行事はちょうど30回に達した。

偶然山陽新聞の記事でその講演会を知って参加し、そのまま企画や運営にもたずさわることになって、改めてこの会の豊かさ、楽しさをかみしめているところである。

「知的生産の技術研究会」は、かつてのベストセラー岩波新書の『知的生産の技術』（梅棹忠夫著）に共鳴した人々の交流・研鑽を目的として結成された。東京本部を中核として、機関紙「ちけんだいがく」のもとに、全国9支部と東京本部を拠点とする4部会によって活動している。

昨年8月にはNPOに認可され、ますますその公益性が認められつつある。この会は、その運営が各支部の独自性に任されている。岡山支部は発足当時から、知的関心を分かち合う仲間のための開かれた会をめざして、だれでもいつでも気軽に参加したりしなかったりできるよう、10人の幹事のボランティア活動によって、例会費だけで運営を続けてきている。

多彩な例会30回

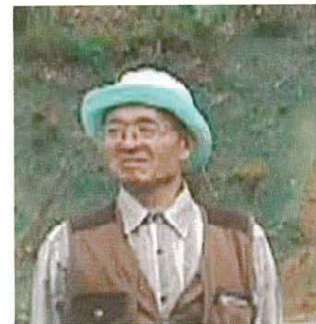
岡山支部は、最初から固定的な理念や信条を持って発足したものではない。

しかし、3年間30回の例会を積み重ねる中で、おのずからなるカラーを培ってきたように思う。まず例会の形態としては、もっとも多いのが講演会で16回、講演になんらかの実習や演習が伴うもの5回、「おでかけ隊」と称する現地体験会7回、読書会2回と融通無碍の変化に富んだ企画を持つことができた。

知的生産への視野を広める

内容的には、まず、会のメインテーマともいえる「知的生産・情報」にかかわる企画が上げられる。発会記念例会の重里俊行大阪産業大学教授による「脱常識のすすめ」は東京中心の「常識」文化に対する、上方の実践的庶民文化の復権を宣言したものとして、「知研」発足にふさわしい企画であった。

これを皮切りに、岡山県立大学山北次郎教授、県企画振興部参与新免國夫さん、NTT西日本岡山支店斎藤哲巳副支店長によるセミナー「トプレディーとおじさんのためのイン



知的生産の技術研究会
知研・岡山 平成13年 事業概要

トップページ

知研・岡山とは

活動報告

セミナー情報

みんなの広場

会員募集

リンク

2001年事業概要

NPO知研岡山:支部長 久保田 貢

1. 基本構想

従来同様に活動の基本として、岡山県に軸足を置きながら、広く日本国内はもとより国際社会にも視野を広げて世の移り変わりを学び自己啓発していく。

また、当会がNPO法人化されたことに伴い、会員だけの自己研修の場にとどまらず、地域社会にも情報を発信し、身の丈にあった貢献もして行きたい。

特に、これからの課題として下記事項をキーワードとして本年度は取り組む。

2.

i. 情報化社会への適応

岡山県の情報ハイウェイ構築によるインフラ整備は国内でも最先端を進んでいる。今後はこれをどう活用するかが課題であり、当会は昨年ITをテーマに産・官・学によるシンポジウムをNPO法人化記念行事として開催した。

また、昨年11月には、東ひさみさんの「私の生き方 障害から学んだこと」の講演会を催し、非常な感銘を受けた。このとき障害者にとっても、今後パソコンをいかに有効に利用するかは、その生活や生き方に大きな影響を及ぼすだろう、ということが話題になった。

さらには、国としても、幅広い年齢層や地域住民に対して、インターネットの活用推進策がとられることになっている。こうした状況を踏まえ、当会でも具体的な活動として何ができるかを模索していきたい。

ii. 高齢社会の問題

知研岡山としては、上記(i)の中で、高齢者のパソコン利用についてもなにかお役に立てることはないかを考えていきたい。高齢者のパソコン導入への障害は、ちょっとしたことを訊ねたり指導を受けたりできる人がいないことである。会員のほとんどがパソコンを使っているだけに、その具体化を検討してみたい。

また、知研の分科会として、中学生や高校生のボランティアと協力してできることはないか、なども考えていきたい。

iii. 少年問題を含めて心の問題への取り組み

日々のニュースは心の荒廃を伝えて止まない。人間らしい心をどう取り戻すのか。21世紀の課題でもある。

この観点から、さまざまな角度から「こころ」を見つめる機会を持ちたい。

今年は、第二次世界大戦で、クワイ河に通った泰緬鉄道の建設にまつわる捕虜虐待の現場に、通訳としてかわり、その贖罪を生涯のしごととして今でも現地を訪問され、遺骨収集や慰霊を行っておられる永瀬 隆さん(岡山在住)のお話をお聴きすることになっている。

また、読書研修会では、人を信頼し生かしていった郷土の偉人「大原孫三郎」さんの歩みから多くのことを学びたい。

iv. 岡山の伝統文化と地域活性化

これまでも県内および近県の伝統文化を知る努力をしてきたが、それは序の口である。本年度ももっと視野を広げ深めてゆきたい。

3. スケジュール 下記の通り

平成13年度 事業計画

今年も、もっと×2 知りたくて

知的生産の技術研究会に関する メディアの掲載記事

トップページ

知研・岡山とは

活動報告

セミナー情報

みんなの広場

会員募集

リンク

日本経済新聞2002年1月16日(水)中国四国経済28面(編集委員中沢義則)

サラリーマンの勉強会NPO法人に衣替え



[写真]NPO法人化で活動にはずみがつくサラリーマンの勉強会(知的生産の技術研究会)

現役サラリーマンやそのOBの勉強会がNPO法人(特定非営利法人)に衣替えする動きが目立っている、任意団体からNPO法人にすることで、「自分のための勉強」から一歩進めてへ企業人として蓄えた知識や技能を地域や国際社会に還元するのが狙い。

構造的な不況をよそに、元気に活動するサラリーマンの輪が広がっている。東京、大阪など全国十都市でサラリーマンの勉強会を主宰する「知的生産の技術研究会」(略称知研、東京都府中市)は昨年八月、NPO法人になった。狙いは学校教育や生涯学習の支援を核にした社会貢献だ。

梅棹忠夫氏の「知的生産の技術」(岩波新書)に触発され、サラリーマンの知的武装のための会として発足して三十年。会員は団塊世代が主役で、本の出版など果実も少なくない。理事長の八木哲郎さんは「仲間うちの閉じた会ではなく、外へ向けて情報を発信して社会に入り込む。そうすれば、生きがいづくりや能力開発にも役立つ」と話す。

NPO法人になってから始めたのが、知的生産の技術の核となる「図解」技術の普及活動だ。図解は様々なテーマや論点を図に整理して伝える技術。企画、理解、伝達の高める手法として注目されている。

第一人者の県立宮城大学教授の久垣啓一さんは、日本航空時代に知研の活動で図解の技術を磨いた。知研の顧問も務める久垣さんの元には、学校や企業、官庁から講演依頼が殺到、知研の会員も講師に加わり全国行脚している。久垣さんは「平凡な社員が知的生産に目覚めたのは知研のおかげ。その技術を教育再生に役立てるのはやりがいがある。図解以外にも活動の幅を広げ、仲間を増やしたい」と話す。

山陽新聞 朝刊 2001年12月15日(土) 地方経済13面

リットカフェと東京直結 テレビ会議セミナー 岡山



[写真]テレビ会議システムを使った双方向セミナー＝岡山市内

テレビ会議システムを使い、岡山市駅前町にあるIT(情報技術)ビジネスの交流拠点「リットカフェ」と東京都内の会場を結んだ双方向セミナーが13日夜、開かれた。

異業種交流の勉強会グループ・知的生産の技術研究会岡山支部などが企画。リットカフェ内には、電話回線で接続されたテレビ会議のスクリーンモニターを設置。東京の会場で中小企業の活性化をテーマに話す経済産業省の藤和彦・繊維課通商室長の姿がスムーズな画像と明りょうな音声で映し出された。

講演後は、同システムを介し、リットカフェに集まった十二人の参加者が藤室長らと懇談した。

同岡山支部は毎月テーマを変え、専門家らを講師に迎えた勉強会を開いており「テレビ会議で地方同士のネットワークも広がる。今後も機会があれば遠隔地を結んだ講演を計画したい」としている。

知的生産の技術研究会
知研・岡山 平成12年 以前の活動

[トップページ](#)

[知研・岡山とは](#)

[活動報告](#)

[セミナー情報](#)

[みんなの広場](#)

[会員募集](#)

[リンク](#)

2000年主な活動状況

- ・ [平成12年11月例会](#)
- ・ [平成12年9月例会](#)
- ・ [平成12年5月例会](#)

岡山支部の歩み

「知的生産の技術」研究会 岡山支部の歩み

1998年5月～2000年11月

1998年	活動種別	演題・テーマ	講師
5月	発足記念 講演会	「脱常識のすすめ」	大阪産業大学教授 重里俊行
6月	講演会	「私と日本」	林原 主幹 モハマッドライーズ
7月	講演会	「吉備の国の物語」	日本工芸会中国支部顧問 神野 力
9月	講演会	「実践的幸福論」 アマチュア教師が 学生から学んだこと	岡山理大講師 山本正夫
10月	講演会	「地球環境・ 未来からの預かりもの」	岡山大学教授 本水昌二
1999年	活動種別	演題・テーマ	講師
1月	講演会	「豊かなこころ」	旭テクネイオン顧問 村岡正則
2月	お出掛け隊	横田町「たたら」	案内役 平田真一
3月	講演会	基礎からわかる 「お金の話」	中国銀行広報室長 木村泰三
4月	お出掛け隊	観光都市倉敷の未来 ちぼり公園のみどころ	倉敷市役所主幹 玄馬正雄 案内役 藤井美琴
5月	講演と実技	「健康づくりのための 心と体の処方箋」	健康づくりセンタ所長 藤井昌史
6月	1周年記念 講演と実技	「図解による 知的生産の技術」	宮城大学教授・知研顧問 久恒啓一
7月	読書研修会	武田修志著 「人生の価値を考える」 極限状態における人間	—
9月	講演会	おもしろ旅 “ウオッチング”	TIS 添乗員 近藤二郎 大野亜希子
10月	お出掛け隊	直島ベネッセ文化村	